

デジタルヘルス市場の再考と今後を考える

～今、改めて考察し直すデジタルヘルスビジネス～

今やデジタルヘルス、ヘルステック×イノベーション等といった言葉は、誰もが使うバズワードともなっています。多くの産業クラスターやベンチャーファンドにおいても、デジタルヘルスは重要アプローチテーマの1つとなっていますが、現状はどのように動いて変化しているのでしょうか。

また、データ駆動型社会(Society5.0)という国の大きな戦略方向性においてもデジタルヘルス領域が重要な取り組み領域(フィールド実証テーマ)の1つにもなっています。

一方で、GDPRや改正個人情報保護法、データ倫理等という視点からデータの取り扱いについては極めて慎重な事業モデル構築・展開が求められてもいます。

今回のセミナーでは、デジタルヘルス市場(デジタルメディカル市場ではない)を再考し、その困難な部分をクローズアップするとともに、今後どのように市場は進化していくのか等について、今一度みなさん共に考える場にしたいと思います。

■プログラム

(16:00~17:00)

デジタルヘルス市場の再考と今後を考える

～今、改めて考察し直すデジタルヘルスビジネス～

卯津羅 泰生 氏 (神戸大学大学院医学研究科 AI・デジタルヘルス科学分野 特命准教授)

【日程】 3月27日(金) 16:00~17:00

【場所】 公益財団法人都市活力研究所 セミナールーム
 大阪市北区大深町3番1号
 グランフロント大阪ナレッジキャピタル タワーC 7階
 TEL:06-6359-1322 FAX:06-6359-1329

【参加費】 無料

定員:30名

※事前申込制定員になりしだい締め切らせていただきます。

■主催

公益財団法人都市活力研究所

■詳細&お申込み先

<https://www.urban-ii.or.jp>

